

旅行取扱状況の概観（令和4年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前々年比2.5%、学生団体は同16.3%と前々年を下回り、団体旅行合計では同7.1%と前々年を下回った。企画旅行についてはほぼ実績がなく、個人旅行については同3.8%と前々年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前々年比1.8%と前々年を下回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前々年比28.1%と前々年を下回り、学生団体は同61.9%となった。団体旅行合計では49.7%と前々年を下回った。企画旅行については前々年比36.1%と前々年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前々年比37.6%と前々年を下回った。

外国人旅行については、前々年比0.9%と前々年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前々年比29.4%となった。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は国際的な新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響が続き前々年比2.5%となった。学生団体は旅行の中止や延期の影響を受け同16.3%となった。この結果、海外団体旅行合計では前々年比7.1%と前々年を下回った。

海外企画旅行については、催行中止の状態が続きほぼ実績がなく、前々年比0.0%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前々年比1.8%と前々年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行については、入国制限措置などの影響を受け、前々年比0.9%と前々年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は大人数での移動を避ける傾向は続き前々年比28.1%となった。学生団体はまん延防止等重点措置の発出されたことにより旅行の延期・中止等の影響があり同61.9%となった。この結果、国内団体旅行合計では前々年比49.7%と前々年を下回った。

国内企画旅行については、再拡大への警戒感やまん延防止等重点措置の発出があり旅行を控える傾向から前々年比36.1%と前々年を下回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前々年比37.6%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから前々年実績との比較にて表記。